

| | | | | | | | | |
|-------------|---|------------|-------------|-------------|------------------|------------|------------|-----------|
| 授業名 | 日本仏教の歴史 | | | 開講学年 | 1回生 | 単位数 | 2単位 | |
| 英文名 | History of Buddhism in Japan | | | 開講時期 | 秋学期 | 必修・選択 | 選択 | |
| 担当者 | 伊藤 真昭 | | | 対象学生 | 歴史1回生 | | | |
| 授業の概要 | 日本仏教の流れと、京都との関わり。 | | | | | | | |
| 学習成果到達目標 | 1) 日本仏教の歴史についての理解を深める。 2) 京都の寺院を通じて仏教がもたらした文化・思想について学ぶ。 3) 京都検定2級程度の知識を身につける。 | | | | | | | |
| 評価方法 | 定期試験 (70 %) | 筆記試験 口述 | レポート 実習 | 制作物 実技 | 平常試験 (30 %) | 筆記試験 口述 | レポート 実習 | 制作物 実技 |
| 評価基準 | 主たる評価の 観点 | 知識・理解 (| コミュニケーション能力 | プレゼンテーション能力 | 課題発見・解決能力 |) | | |
| テキスト | 京都商工会議所編『新版 京都・観光文化検定試験 公式テキストブック』(2016 淡交社) | | | | | | | |
| 参考書 | | | | | | | | |
| 留意事項 | | | | | | | | |
| オフィス アワー | 研究室の扉に掲示する。 | | | | | | | |

| 授 業 名 | | 日本仏教の歴史 | |
|---------|-------------------|--|--|
| 授 業 計 画 | 学習項目 | 学習内容・課題 | |
| 第1回 | ガイダンス | (内 容) 授業の進め方を説明する。 (必要な準備) シラバスを読んでおく。(15分) | |
| 第2回 | 仏教伝来 飛鳥時代・奈良時代の仏教 | (内 容) 仏教伝来～奈良時代までの仏教について理解する。 (必要な準備) 上記時代の歴史背景について予習すること。(60分) | |
| 第3回 | 平安時代の仏教 | (内 容) 平安時代の仏教について理解する。 (必要な準備) 上記時代の歴史背景について予習すること。(60分) | |
| 第4回 | 学外授業 永観堂 | (内 容) 永観堂を見学する。 (必要な準備) テキストの該当部分を読んでおくこと。(60分) | |
| 第5回 | 鎌倉時代の仏教 | (内 容) 鎌倉時代の仏教について理解する。 (必要な準備) 上記時代の歴史背景について予習すること。(60分) | |
| 第6回 | 学外授業 青蓮院青龍殿 | (内 容) 青蓮院青龍殿を見学する。 (必要な準備) テキストの該当部分を読んでおくこと。(60分) | |
| 第7回 | 学外授業 建仁寺 | (内 容) 建仁寺を見学する。 (必要な準備) テキストの該当部分を読んでおくこと。(60分) | |
| 第8回 | 室町時代の仏教 | (内 容) 室町時代の仏教について理解する。 (必要な準備) 上記時代の歴史背景について予習すること。(60分) | |
| 第9回 | 学外授業 南禅寺・金地院 | (内 容) 南禅寺・金地院を見学する (必要な準備) テキストの該当部分を読んでおくこと。(60分) | |
| 第10回 | 戦国時代・安土桃山時代の仏教 | (内 容) 戦国・安土桃山時代の仏教について理解する。 (必要な準備) 上記時代の歴史背景について予習すること。(60分) | |
| 第11回 | 学外授業 高台寺 | (内 容) 高台寺を見学する。 (必要な準備) テキストの該当部分を読んでおくこと。(60分) | |
| 第12回 | 学外授業 寺町を歩く | (内 容) 寺町を見学する。 (必要な準備) テキストの該当部分を読んでおくこと。(60分) | |
| 第13回 | 江戸時代の仏教 | (内 容) 江戸時代の仏教について理解する。 (必要な準備) 上記時代の歴史背景について予習すること。(60分) | |
| 第14回 | 学外授業 知恩院・円山公園 | (内 容) 知恩院を見学する。 (必要な準備) テキストの該当部分を読んでおく。(60分) | |
| 第15回 | まとめ | (内 容) 授業のまとめ。 (必要な準備) これまでの復習(60分) | |

| | | | | | | | | |
|-------------|---|------------------|-------------|-------------|-------------|------------|------------|-----------|
| 授業名 | 人物史 | | | 開講学年 | 2回生 | 単位数 | 2単位 | |
| 英文名 | History of Great People | | | 開講時期 | 秋学期 | 必修・選択 | 選択 | |
| 担当者 | 新矢 昌昭 | | | 対象学生 | 歴史2回生 | | | |
| 授業の概要 | この講義では、歴史上の人物の中から京都に関係の深い人物を選び、その人物から当時の社会を確認し、歴史的、文化的な意義を考えたい。本講義では「敗れた」人物や悲劇の人物について考えたい。そして取り上げる人物を巡る様々な人物を対置させ、「敗れた」人物や悲劇の人物の目指した理想や理念を考える。「敗れた」人物や悲劇の人物に焦点を当てるのは、その人物の持つ可能性や意義を考えることで、多様な歴史観、あるいは現在に通じることを学べるからである。 | | | | | | | |
| 学習成果到達目標 | 1) 現代に生きるわれわれにとって、取り上げた人物から彼らの時代的な意義を掴む。 2) 何故、人々は人物に「共感」するのかを考える。 3) 時代と人物との関係を把握する。 | | | | | | | |
| 評価方法 | 定期試験 (100%) | 筆記試験 口述 | レポート 実習 | 制作物 実技 | 平常試験 (%) | 筆記試験 口述 | レポート 実習 | 制作物 実技 |
| 評価基準 | 主たる評価の 観点 | 知識・理解 (歴史的汎用) | コミュニケーション能力 | プレゼンテーション能力 | | 課題発見・解決能力 | | |
| テキスト | 使用しない。 | | | | | | | |
| 参考書 | 講義中に指摘する。 | | | | | | | |
| 留意事項 | わからない箇所は、講義後に聞くこと。 | | | | | | | |
| オフィス アワー | 研究室の扉に掲示する | | | | | | | |

| 授 業 名 | | 人物史 |
|---------|----------------------|---|
| 授 業 計 画 | 学習項目 | 学習内容・課題 |
| 第1回 | ガイダンス | (内 容) 人物史とは何か (必要な準備) 自身の好きな歴史的人物について調べておく(30分)。 |
| 第2回 | 人物史の方法 | (内 容) 人物から歴史を考える (必要な準備) どのような人物が主として取り上げられているのかを高校の教科書から調べておく(60分)。 |
| 第3回 | 平氏と源氏を巡る人々－源頼朝 | (内 容) 平家と源氏の盛衰と両者の理想を考える (必要な準備) 頼朝の基本的な理解をしておく(60分)。 |
| 第4回 | 平氏と源氏を巡る人々－平維盛と重衡 | (内 容) 人物から平氏政権の特徴と滅亡を考える (必要な準備) 平維盛と重衡の基本的な理解をしておく(60分)。 |
| 第5回 | 北条高時の悲劇 | (内 容) 高時は本当に愚か者なのか (必要な準備) 高時の基本的な理解をしておく(60分)。 |
| 第6回 | 北条高時と鎌倉炎上 | (内 容) 高時の教訓 (必要な準備) 鎌倉滅亡に至る『太平記』の配布史料を一読しておく(60分)。 |
| 第7回 | 足利義教－くじ引き將軍 | (内 容) くじ引き將軍の目指したもの (必要な準備) 義教についての基礎的な理解をしておく(60分)。 |
| 第8回 | 足利義教－恐怖政治 | (内 容) くじ引き將軍の目指したもの (必要な準備) 歴史的な恐怖政治の共通項について考えておく(60分)。 |
| 第9回 | 近代人、織田信長 | (内 容) 信長の世界観 (必要な準備) 信長の基礎的な理解をしておく(30分)。 |
| 第10回 | 織田信長と本能寺の変－光秀は犯人ではない | (内 容) 信長を殺したのは誰か (必要な準備) 信長と明智光秀の関係の基礎的な理解をしておく(60分)。 |
| 第11回 | 織田信長と本能寺の変－黒幕の存在 | (内 容) 信長を殺しを巡る人々 (必要な準備) 信長と明智光秀について基礎的な理解をしておく(60分)。 |
| 第12回 | 豊臣秀次 | (内 容) 秀次は、本当に「殺生関白」なのか (必要な準備) 秀次についての基本的な理解をしておく(30分)。 |
| 第13回 | 豊臣秀次、フィールドワーク | (内 容) 豊臣秀次の墓地 (必要な準備) 秀次の死についての理解(30分)。 |
| 第14回 | 幕末の京都を巡る人々－新撰組 | (内 容) 芹沢鴨は本当に乱暴者なのか (必要な準備) 幕末水戸藩についての理解(60分)。 |
| 第15回 | 幕末の京都を巡る人々－新撰組と会津藩 | (内 容) 会津藩と新撰組。彼らは、何故京都人から嫌われたのか (必要な準備) 京都守護職を理解しておく(30分)。 |

| | | | | | | | | |
|-------------|--|------------|-------------|-------------|---------------|------------|------------|-----------|
| 授業名 | 京の年中行事 | | | 開講学年 | 2回生 | 単位数 | 2単位 | |
| 英文名 | Annual Events of Kyoto | | | 開講時期 | 秋学期 | 必修・選択 | 選択 | |
| 担当者 | 工藤 美和子 | | | 対象学生 | 歴史2回生 | | | |
| 授業の概要 | 京の年中行事にはどのようなものがあるのか、またその由来について学ぶ。 | | | | | | | |
| 学習成果到達目標 | 1) 京都の年中行事を学び、京都の歴史や文化への理解を深める。 2) 京都の年中行事について語れるようになる。 | | | | | | | |
| 評価方法 | 定期試験 (100 %) | 筆記試験 口述 | レポート 実習 | 制作物 実技 | 平常試験 (%) | 筆記試験 口述 | レポート 実習 | 制作物 実技 |
| 評価基準 | 主たる評価の 観点 | 知識・理解 (| コミュニケーション能力 | プレゼンテーション能力 | 課題発見・解決能力 |) | | |
| テキスト | 担当教員が資料を準備する。配布された資料は忘失しないこと。 | | | | | | | |
| 参考書 | 特になし。 | | | | | | | |
| 留意事項 | 毎回担当者を決めて発表してもらう。 | | | | | | | |
| オフィス アワー | 金曜日午後12時から15時まで | | | | | | | |

| 授 業 名 | | 京の年中行事 |
|---------|---------------|--|
| 授 業 計 画 | 学習項目 | 学習内容・課題 |
| 第1回 | ガイダンス | (内 容) 講義の進め方について。 (必要な準備) 特になし |
| 第2回 | 年中行事はなぜ行われるのか | (内 容) 年中行事の必要性について考える。 (必要な準備) 年中行事の語句について各自調べるように(30分) |
| 第3回 | 1月 修正会 | (内 容) 修正会について学ぶ。 (必要な準備) 「修正会」を辞書で調べておくこと(15分) |
| 第4回 | 2月 節分 | (内 容) 京都の節分について学ぶ。 (必要な準備) 「節分」を辞書で調べておくこと(15分) |
| 第5回 | 3月 京のひな祭り | (内 容) 京のひな祭りについて学ぶ。 (必要な準備) 「人形」を辞書で調べておくこと(15分) |
| 第6回 | 4月 やすらい祭 | (内 容) やすらい祭について学ぶ。 (必要な準備) 「やすらい祭」を辞書で調べておくこと(15分) |
| 第7回 | 5月 葵祭 | (内 容) 葵祭について学ぶ。 (必要な準備) 「葵祭」を辞書で調べておくこと(15分) |
| 第8回 | 6月 夏越祓 | (内 容) 夏越祓について学ぶ。 (必要な準備) 「祓」を辞書で調べておくこと(15分) |
| 第9回 | 7月 祇園御霊会 | (内 容) 祇園祭について学ぶ。 (必要な準備) 「御霊」を辞書で調べておくこと(15分) |
| 第10回 | 8月 京の地藏盆 | (内 容) 京の地藏盆について学ぶ。 (必要な準備) 「地藏」「盆」を辞書で調べておくこと(30分) |
| 第11回 | 9月 重陽の節句 | (内 容) 京の重陽行事について学ぶ。 (必要な準備) 「重陽」を辞書で調べておくこと(15分) |
| 第12回 | 10月 京の火祭り | (内 容) 京で行われる火祭りについて学ぶ。 (必要な準備) 「鞍馬の火祭」を調べておくこと(30分) |
| 第13回 | 11月 亥子祭 | (内 容) 宮中行事「御玄猪」について学ぶ。 (必要な準備) 「護王神社」を調べておくこと(15分) |
| 第14回 | 12月 大晦日 | (内 容) 八坂神社の大晦日行事について学ぶ。 (必要な準備) 大晦日の行事を調べておくこと(30分) |
| 第15回 | まとめ | (内 容) 講義内容についてまとめる。 (必要な準備) 講義の復習 |

| | | | | | | | | |
|-----------------|--|------------------|-------------|--------------------|------------------|------------|------------|-----------|
| 授 業 名 | 京の服装文化 | | 開 講 学 年 | 1回生 | 単 位 数 | 2単位 | | |
| 英 文 名 | Culture of Kyoto Clothing | | 開 講 時 期 | 秋学期 | 必修・選択 | 選択 | | |
| 担 当 者 | 馬場 まみ | | 対 象 学 生 | 歴史1回生 | | | | |
| 授業の概要 | 現在の和服が形成されるまでの歴史を学ぶ。さらに、服装に用いられた様々な染織技法について理解する。 1. 古代の貴族の服装と染織技法 2. 中世の武家の服装と染織技法 3. 近世の町人の服装と染織技法 | | | | | | | |
| 学 習 成 果 達 成 目 標 | 1) 和服がどのように形成されてきたのかを説明することができる。 2) 服装に用いられてきた染織技法の概略を説明することができる。 | | | | | | | |
| 評 価 方 法 | 定期試験 (90 %) | 筆記試験 口述 | レポート 実習 | 制作物 実技 | 平常試験 (10 %) | 筆記試験 口述 | レポート 実習 | 制作物 実技 |
| 評 価 基 準 | 主たる評価の 観点 | 知識・理解 (思考力) | コミュニケーション能力 | プレゼンテーション能力 () | 課題発見・解決能力 () | | | |
| テ キ ス ト | 使用しない | | | | | | | |
| 参 考 書 | 随時指示する | | | | | | | |
| 留 意 事 項 | | | | | | | | |
| オ フ ィ ス ア ワ ー | 毎週1回(休業期間中を除く)設定します。ただし、会議や出張などで対応できない場合があります。 | | | | | | | |

| 授 業 名 | | 京の服装文化 | |
|---------|---------------------|---------------|--|
| 授 業 計 画 | 学 習 項 目 | 学 習 内 容 ・ 課 題 | |
| 第1回 | 科目ガイダンス | (内 容) | 本講義の目標 (必要な準備) シラバスを読んでおく。(10分) |
| 第2回 | 奈良時代までの服装文化 | (内 容) | 奈良時代までの服装文化について学ぶ。 (必要な準備) 配付資料を読んでおく。(30分) |
| 第3回 | 平安時代の服装文化：文化の特色と服装 | (内 容) | 平安時代の社会の概要について理解する。 (必要な準備) 平安時代について調べる。(30分) |
| 第4回 | 平安時代の服装文化：男性の服装 | (内 容) | 平安時代の貴族男性の服装について学ぶ。 (必要な準備) 配付資料を読んでおく。(30分) |
| 第5回 | 平安時代の服装文化：女性の服装 | (内 容) | 平安時代の貴族女性の服装について学ぶ。 (必要な準備) 配付資料を読んでおく。(30分) |
| 第6回 | 平安時代の服装文化：色と文様 | (内 容) | 平安貴族の服装の色と文様の特色について理解する。 (必要な準備) 配付資料を読んでおく。(30分) |
| 第7回 | 染色技法の解説 | (内 容) | 天然染料を用いた染色技法の基礎を理解する。 (必要な準備) 配付資料を読んでおく。(30分) |
| 第8回 | 鎌倉・室町時代の服装文化 | (内 容) | 中世の武家の服装文化を学ぶ。 (必要な準備) 中世の文化について調べる。(30分) |
| 第9回 | 桃山時代の服装文化 | (内 容) | 桃山時代の特色と服装文化について学ぶ。 (必要な準備) 桃山時代の文化について調べる。(30分) |
| 第10回 | 近世社会の概要 | (内 容) | 近世社会の概要を学ぶ。 (必要な準備) 近世の文化について調べる。(30分) |
| 第11回 | 江戸時代の服装文化：江戸時代前期の服装 | (内 容) | 江戸時代前期の小袖の特色を学ぶ。 (必要な準備) 配付資料を読んでおく。(30分) |
| 第12回 | 江戸時代の服装文化：染織技法 | (内 容) | 江戸時代に用いられた染織技法を理解する。 (必要な準備) 配付資料を読んでおく。(30分) |
| 第13回 | 江戸時代の服装文化：友禅染の開発 | (内 容) | 友禅染開発の経緯とその特徴を理解する。 (必要な準備) 友禅染について調べる。(30分) |
| 第14回 | 江戸時代の服装文化：身分と服装 | (内 容) | 武家の服飾と町人の服飾の違いを学ぶ。 (必要な準備) 配付資料を読んでおく。(30分) |
| 第15回 | まとめ | (内 容) | 全体の総括 (必要な準備) これまでの講義内容を振り返る。(30分) |

| | | | | | | | | |
|-------------|---|--------------|-------------|--------------------|------------------|------------|------------|-----------|
| 授業名 | 京の伝統芸術 | | | 開講学年 | 2回生 | 単位数 | 2単位 | |
| 英文名 | Traditional Arts of Kyoto | | | 開講時期 | 秋学期 | 必修・選択 | 選択 | |
| 担当者 | 伊藤 真昭 | | | 対象学生 | 歴史2回生 | | | |
| 授業の概要 | 京都に都が移されて千二百有余年。この年月の間に醸成された有形あるいは無形の伝統文化、伝統産業に触れる事により、そこから昇華した伝統芸術について見ていく。日本文化の中心として古き良きものを継承しつつ、新たな文化をも創生していった京都の伝統芸術を実際に体験を交えながら探究していく。 | | | | | | | |
| 学習成果到達目標 | 1) 京に生まれた伝統文化・伝統芸術を見ていく事で、京都の歴史や伝統の重みを知る。 2) 伝統の大切さを知る。 3) 京都検定2級合格を目指す。 | | | | | | | |
| 評価方法 | 定期試験 (50 %) | 筆記試験 口述 | レポート 実習 | 制作物 実技 | 平常試験 (50 %) | 筆記試験 口述 | レポート 実習 | 制作物 実技 |
| 評価基準 | 主たる評価の 観点 | 知識・理解 () | コミュニケーション能力 | プレゼンテーション能力 () | 課題発見・解決能力 () | | | |
| テキスト | 『新版 京都・観光文化検定試験公式テキストブック』(淡交社) | | | | | | | |
| 参考書 | 使用しない。 | | | | | | | |
| 留意事項 | 京都検定2級を受けることが望ましい。 | | | | | | | |
| オフィス アワー | 研究室の扉に掲示する。 | | | | | | | |

| 授 業 名 | | 京の伝統芸術 | |
|---------|-----------------|--|--|
| 授 業 計 画 | 学 習 項 目 | 学 習 内 容 ・ 課 題 | |
| 第1回 | ガイダンス | (内 容) 授業の進め方の説明 (必要な準備) シラバスを読んでおく(15分)。 | |
| 第2回 | 京の伝統工芸 西陣織 | (内 容) 西陣織について学ぶ。 (必要な準備) テキストの該当部分を読んでおく(60分) | |
| 第3回 | 京の伝統工芸 友禅染 | (内 容) 友禅染について学ぶ (必要な準備) テキストの該当部分を読んでおく(60分) | |
| 第4回 | 京の伝統工芸 漆芸・螺鈿・七宝 | (内 容) 蒔絵・螺鈿・七宝について学ぶ (必要な準備) テキストの該当部分を読んでおく(60分) | |
| 第5回 | 学外授業 友禅染の体験 | (内 容) 友禅染を体験する。 (必要な準備) テキストの該当部分を読んでおく(60分) | |
| 第6回 | 京の竹工芸 | (内 容) 竹工芸について学ぶ。 (必要な準備) テキストの該当部分を読んでおく(60分) | |
| 第7回 | 京の伝統工芸 京焼・清水焼 | (内 容) 京焼・清水焼について学ぶ。 (必要な準備) テキストの該当部分を読んでおく(60分) | |
| 第8回 | 学外授業 清水焼絵付け体験 | (内 容) 清水焼の絵付け体験をする (必要な準備) テキストの該当部分を読んでおく(60分) | |
| 第9回 | 京都迎賓館 | (内 容) 京都迎賓館にある伝統工芸について学ぶ。 (必要な準備) 迎賓館について調べておく(60分) | |
| 第10回 | 学外授業 京都迎賓館 | (内 容) 京都迎賓館について学ぶ。 (必要な準備) これまでの復習(60分) | |
| 第11回 | 茶道 薄茶 | (内 容) 薄茶について学ぶ。 (必要な準備) テキストの該当部分を読んでおく(60分) | |
| 第12回 | 茶道 濃茶 | (内 容) 濃茶について学ぶ。 (必要な準備) テキストの該当部分を読んでおく(60分) | |
| 第13回 | 茶道 茶室 | (内 容) 茶室について学ぶ。 (必要な準備) テキストの該当部分を読んでおく(60分) | |
| 第14回 | 学外授業 西陣織会館 | (内 容) 西陣織会館を見学する。 (必要な準備) テキストの該当部分を復習しておく(60分) | |
| 第15回 | 学外授業 茶道資料館 | (内 容) 抹茶体験 (必要な準備) テキストの該当部分を読んでおく(60分) | |

| | | | | | | | | |
|-------------|---|------------|-------------|-------------|------------------|------------|------------|-----------|
| 授業名 | 古文書学 | | | 開講学年 | 1回生 | 単位数 | 2単位 | |
| 英文名 | Paleography | | | 開講時期 | 秋学期 | 必修・選択 | 選択 | |
| 担当者 | 伊藤 真昭 | | | 対象学生 | 歴史1回生 | | | |
| 授業の概要 | 古文書（こもんじょ）の様式・かたちを学び、読解のための必要な基礎的文字にふれてみよう。わからないところは友達と相談してもかまいません。 | | | | | | | |
| 学習成果到達目標 | 1) 漢字の部品として、へん、つくり、かんむり、あし、かまえを識別できるようになること。 2) 数字、単位、人名、地名が読めるようになること。 3) 老舗の看板ぐらいを読めるようになること。 | | | | | | | |
| 評価方法 | 定期試験 (70 %) | 筆記試験 口述 | レポート 実習 | 制作物 実技 | 平常試験 (30 %) | 筆記試験 口述 | レポート 実習 | 制作物 実技 |
| 評価基準 | 主たる評価の 観点 | 知識・理解 (| コミュニケーション能力 | プレゼンテーション能力 | 課題発見・解決能力 |) | | |
| テキスト | 授業中に配布します。 | | | | | | | |
| 参考書 | 児玉幸多編『くずし字解読辞典』（東京堂出版）があればのぞましい。 | | | | | | | |
| 留意事項 | 日ごろの予習・復習が大事です。適宜小テストも行います。 | | | | | | | |
| オフィス アワー | 研究室の扉に掲示する。 | | | | | | | |

| 授 業 名 | | 古 文 書 学 |
|---------|-------------------------------------|---|
| 授 業 計 画 | 学 習 項 目 | 学 習 内 容 ・ 課 題 |
| 第1回 | 古文書とは | (内 容) 古文書の定義を説明します。 (必要な準備) 参加する意欲(0分) |
| 第2回 | 古文書のかたち | (内 容) 様々なかたちの古文書を紹介します。 (必要な準備) 配布したテキストを読んでおく(60分) |
| 第3回 | くずし字の特徴 へん にんべん・きへん・さんずいへんなど | (内 容) なじみのあるへんがどのように崩されているかをみます。 (必要な準備) 配布したテキストを読んでおくこと(60分) |
| 第4回 | くずし字の特徴 へん てへん・かねへん・ごんべんなど | (内 容) なじみのあるへんがどのように崩されているかをみます。 (必要な準備) 配布したテキストの予習・復習(60分) |
| 第5回 | くずし字の特徴 つくり りっとう・おおがい・ぼくづくりなど | (内 容) なじみのあるつくりがどのように崩されているかをみます。 (必要な準備) 配布したテキストの予習・復習(60分) |
| 第6回 | くずし字の特徴 かんむり くさかんむり・たけかんむり・あめかんむりなど | (内 容) なじみのあるかんむりがどのように崩されているかをみます。 (必要な準備) 配布したテキストの予習・復習(60分) |
| 第7回 | くずし字の特徴 あし・かまえ ころろ・れっか・さらなど | (内 容) なじみのあるあし・かまえがどのように崩されているかをみます。 (必要な準備) 配布したテキストの予習・復習(60分) |
| 第8回 | 数字・単位 お米の単位 | (内 容) 今では使われない単位や数字を読みます。 (必要な準備) 配布したテキストの予習・復習(60分) |
| 第9回 | 数字・単位 お金の単位 | (内 容) 今では使われない数字・単位を読みます。 (必要な準備) 配布したテキストの予習・復習(60分) |
| 第10回 | 単位・数字 その他 | (内 容) 今では使われない数字・単位を読みます。 (必要な準備) 配布したテキストの予習・復習(60分) |
| 第11回 | 江戸時代の人名 右衛門・左衛門 | (内 容) 江戸時代の人名に読みます。 (必要な準備) 配布したテキストの予習・復習(60分) |
| 第12回 | 江戸時代の人名 兵衛 | (内 容) 江戸時代の人名を読みます。 (必要な準備) 配布したテキストの予習・復習(60分) |
| 第13回 | 江戸時代の人名 その他 | (内 容) 江戸時代の人名を読みます。 (必要な準備) 配布したテキストの予習・復習(60分) |
| 第14回 | 譲り状を読む | (内 容) 実際の古文書を読みます。 (必要な準備) 配布したテキストの予習・復習(60分) |
| 第15回 | 譲り状を読む | (内 容) 実際の古文書を読みます。 (必要な準備) 配布したテキストの予習・復習(60分) |

| | | | | | | | | |
|------------------|---|------------|-------------|------------------|------------------|------------|------------|-----------|
| 授 業 名 | 史跡調査探訪 | | | 開 講 学 年 | 1・2回生 | 単 位 数 | 1単位 | |
| 英 文 名 | Research Visits to Historical Sites | | | 開 講 時 期 | 秋学期 | 必修・選択 | 選択 | |
| 担 当 者 | 新矢 昌昭 | | | 対 象 学 生 | 歴史1回生、歴史2回生 | | | |
| 授業の概要 | 主として本学周辺の史跡を探訪し、京都内を実地調査する。それらの史跡を歴史的、宗教的、観光的、文化的価値などから、現代社会の中での意味を考える。秋学期では、より春学期で行ってきたことを深化させるために、個人的単位で調査、発表を行う。 | | | | | | | |
| 学 習 成 果 達 成 目 標 | 1) 実地調査を通じて、京都や当該地域を深く考える。 2) 京都について日本での位置づけを学ぶ。 3) フィールドワークを通じて、自己の課題を発見し解決する。 | | | | | | | |
| 評 価 方 法 | 定期試験 (50 %) | 筆記試験 口述 | レポート 実習 | 制作物 実技 | 平常試験 (50 %) | 筆記試験 口述 | レポート 実習 | 制作物 実技 |
| 評 価 基 準 | 主たる評価の 観点 | 知識・理解 (| コミュニケーション能力 | プレゼンテーション能力) | 課題発見・解決能力 (| | |) |
| テ キ ス ト | 使用しない。 | | | | | | | |
| 参 考 書 | 講義中に指摘。 | | | | | | | |
| 留 意 事 項 | 何の為に、目的地へ行くのかという問題意識をもつこと。 | | | | | | | |
| オ フ ィ ス ア ワ ー | 研究室の扉に掲示する | | | | | | | |

| 授 業 名 | | 史跡調査探訪 |
|---------|--------------------------|---|
| 授 業 計 画 | 学習項目 | 学習内容・課題 |
| 第1回 | ガイダンス | (内 容) この講義の進め方 (必要な準備) 行き先の希望地と理由を考えておく(30分)。 |
| 第2回 | フィールドワークの事前調査ー学生希望地 | (内 容) 個人による行先の確認と事前調査の発表ー学生希望地 (必要な準備) 個人による事前調査のレジュメ(60分)。 |
| 第3回 | フィールドワークの実施ー学生希望地 | (内 容) 現地調査ー学生希望地 (必要な準備) 個人によるガイドの作成、地図で経路を確認しておく(60分)。 |
| 第4回 | フィールドワークの事後学習ー学生希望地 | (内 容) 個人による調査内容の発表ー学生希望地 (必要な準備) 個人による調査内容、反省点のレジュメ(60分)。 |
| 第5回 | フィールドワークの事前調査ー学生希望地 | (内 容) 個人による行先の確認と事前調査の発表ー学生希望地 (必要な準備) 個人による事前調査のレジュメ(60分)。 |
| 第6回 | フィールドワークの実施ー学生希望地 | (内 容) 現地調査ー学生希望地 (必要な準備) 個人によるガイドの作成、地図で経路を確認しておく(60分)。 |
| 第7回 | フィールドワークの事後学習ー学生希望地 | (内 容) 個人による調査内容の発表ー学生希望地 (必要な準備) 個人による調査内容、反省点のレジュメ(60分)。 |
| 第8回 | フィールドワークの事前調査ー学生希望地 | (内 容) 個人による行先の確認と事前調査の発表ー学生希望地 (必要な準備) 個人による事前調査のレジュメ(60分)。 |
| 第9回 | フィールドワークの実施ー学生希望地 | (内 容) 現地調査ー学生希望地 (必要な準備) 個人によるガイドの作成、地図で経路を確認しておく(60分)。 |
| 第10回 | フィールドワークの事後学習、事前学習ー学生希望地 | (内 容) 個人による調査内容の発表、行先の確認と事前調査の発表ー学生希望地 (必要な準備) 個人による調査内容、反省点のレジュメ。個人による事前調査のレジュメ(60分)。 |
| 第11回 | フィールドワークの実施ー学生希望地 | (内 容) 現地調査ー学生希望地 (必要な準備) 個人によるガイドの作成、地図で経路を確認しておく(60分)。 |
| 第12回 | フィールドワークの事後学習、事前学習ー学生希望地 | (内 容) 個人による調査内容の発表、行先の確認と事前調査の発表ー学生希望地 (必要な準備) 個人による調査内容、反省点のレジュメ。個人による事前調査のレジュメ(60分)。 |
| 第13回 | フィールドワークの実施ー学生希望地 | (内 容) 現地調査ー学生希望地 (必要な準備) 個人による調査内容、反省点のレジュメ(60分)。 |
| 第14回 | フィールドワークの事後学習ー学生希望地 | (内 容) 個人による調査内容の発表ー学生希望地 (必要な準備) 個人による調査内容、反省点のレジュメ(60分)。 |
| 第15回 | まとめ | (内 容) 全体の講評 (必要な準備) 過去のレジュメを再読しておく(60分)。 |

| | | | | | | | | |
|-------------|---|------------|-------------|------------------|------------------|------------|------------|-----------|
| 授業名 | 京の文学 | | 開講学年 | 1回生 | 単位数 | 2単位 | | |
| 英文名 | Literature of Kyoto | | 開講時期 | 秋学期 | 必修・選択 | 選択 | | |
| 担当者 | 土井 哲治 | | 対象学生 | 歴史1回生 | | | | |
| 授業の概要 | 比較的平易な古語で書かれた、説話と噺本の中から京を舞台とする話を精読し、活き活きとした京の人々の姿や思いも掛けない姿を、理解して貰おう。 | | | | | | | |
| 学習成果到達目標 | 1) 生身の京に生きた人々の姿を十分理解し、説明することができる。 2) 各時代の人々の物の考え方を説明できる。 3) 古語をある程度理解できる。 | | | | | | | |
| 評価方法 | 定期試験 (60 %) | 筆記試験 口述 | レポート 実習 | 制作物 実技 | 平常試験 (40 %) | 筆記試験 口述 | レポート 実習 | 制作物 実技 |
| 評価基準 | 主たる評価の 観点 | 知識・理解 (| コミュニケーション能力 | プレゼンテーション能力) | (| 課題発見・解決能力 |) | |
| テキスト | 配布プリント | | | | | | | |
| 参考書 | | | | | | | | |
| 留意事項 | 毎回の講義の終了時に次回の教材を配布するので、必ず予習しておくこと。 | | | | | | | |
| オフィス アワー | 水曜日御前10時から12時まで | | | | | | | |

| 授 業 名 | | 京の文学 |
|---------|--------------|---|
| 授 業 計 画 | 学習項目 | 学習内容・課題 |
| 第1回 | 導入 | (内 容) 授業の概要と評価方法について (必要な準備) |
| 第2回 | 説話を読む・偷盗 | (内 容) 『今昔物語』第二十九巻・第三話 (必要な準備) テキストの下読みと語彙の予習。 |
| 第3回 | 説話を読む・信仰 | (内 容) 『今昔物語』第二十九巻・第二十三話 (必要な準備) テキストの下読みと語彙の予習。 |
| 第4回 | 説話を読む・夢 | (内 容) 『宇治拾遺物語』第五巻・第一話と第六巻・第四話 (必要な準備) テキストの下読みと語彙の予習。 |
| 第5回 | 説話を読む・庶民生活 | (内 容) 『宇治拾遺物語』第六巻・第四話 (必要な準備) テキストの下読みと語彙の予習。 |
| 第6回 | 説話を読む・利口 | (内 容) 『十訓抄』第一巻・第十八話と第四十一話 (必要な準備) テキストの下読みと語彙の予習。 |
| 第7回 | 説話を読む・好色 | (内 容) 『古本説話集』第六話 (必要な準備) テキストの下読みと語彙の予習。 |
| 第8回 | 説話を読む・英知 | (内 容) 『古本説話集』第六十六話 (必要な準備) テキストの下読みと語彙の予習。 |
| 第9回 | 説話を読む・優れた女 | (内 容) 『古今著聞集』巻第十二・第四三三話 (必要な準備) テキストの下読みと語彙の予習。 |
| 第10回 | 説話を読む・したたかな女 | (内 容) 『古今著聞集』巻第八・第三二二話 (必要な準備) テキストの下読みと語彙の予習。 |
| 第11回 | 説話を読む・強い女 | (内 容) 『古今著聞集』巻第五・第一九〇話と巻第八・第三一九話 (必要な準備) テキストの下読みと語彙の予習。 |
| 第12回 | 噺本を読む・笑話 | (内 容) 『醒睡笑』より5話程度 (必要な準備) テキストの下読みと語彙の予習。 |
| 第13回 | 噺本を読む・信長 | (内 容) 『きのふはけふの物語』より5話程度 (必要な準備) テキストの下読みと語彙の予習。 |
| 第14回 | 噺本を読む・批判精神 | (内 容) 『一休咄』より5話程度 (必要な準備) テキストの下読みと語彙の予習。 |
| 第15回 | まとめ | (内 容) 総括と質問。定期試験の課題への取り組み方についての説明。 (必要な準備) 質問の用意。 |